

2020/07/29(水)15:48

| | | | | |
|--|-------------------------|---|---|------|
| 授業科目名 | 国際経済学 | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | International Economics | | 開講学期 | 前期 |
| 対象学年 | 2 | | 単位数 | 2 |
| 科目責任者 | 佐々木 優 | | ナンバリング | 4301 |
| 科目担当者 | | | | |
| 佐々木 優 | | | | |
| 授業の概要 | | | | |
| <p>膨大な規模のヒト・モノ・カネが国境を越えて行き来するようになった結果、多くの人びとがより豊かな生活を過ごすようになった。もっとも、ヒト・モノ・カネのグローバルな移動の拡大は、様々な問題を世界全体に広げる要因ともなっている。本講義では、「世界経済に見られる問題の全体像」をキーワードに、世界経済の現状について理解を深めるとともに、経済のグローバル化が生み出した課題について考察するものである。</p> | | | | |
| 授業の達成目標 | | | | |
| <p>本講義は、国際経済の基本的な考え方・ポイントを整理した上で、現代のグローバル経済が抱える課題について、学生自身が主体的に考える講義である。特に以下の2点を旨とする。</p> <p>(1) 経済のグローバル化に関する基礎的な構造・考え方を把握すること。</p> <p>(2) 今日のグローバル経済が抱える“全体的な課題”を理解した上で、その原因や背景について考察すること。</p> | | | | |
| 成績評価方法 | | | | |
| <p>期末試験(60%)、講義への参加貢献度およびミニレポート(40%)。を総合して評価する。</p> <p>※尚、受講状況に応じて、期末試験を「複数回の小テスト」や「グループ発表」に変える可能性もある。</p> | | | | |
| 履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと) | | | | |
| <p>①本講義では、講義内容の復習を促すとともに、学生が主体的に考える場を設けるため、複数回のミニレポート(授業内課題)を実施する。そのため、受講者には、配布資料を参照し、講義内容の確認を行うことが求められる。初回授業にて詳細(期末試験の形式変更の説明も含む)を説明するため、受講を希望する学生は必ず初回授業に出席すること。</p> <p>②講義に関係ない私語およびスマートフォン等の使用は厳禁(著しい場合は退室させることがある)</p> <p>③世界経済の動向やビジネス市況の変化、履修状況等に応じて、授業の進め方を変更する可能性がある(内容の組み替えやグループワークの導入など)。履修する際には、その点を留意してほしい。</p> | | | | |
| テキスト・参考書 | | | | |
| <p>教科書は指定せず、毎回の授業でプリントを配布する(新聞の切り抜き以外は、ポータルサイト上にも掲載予定)。</p> <p>全体的な参考書として以下のものを提示するが、各トピックに関連する書籍等はその都度、プリントに記載する。</p> <p>伊藤元重『ゼミナール国際経済入門(改訂3版)』日本経済新聞社、2005年。</p> <p>小林尚朗ほか編『貿易入門:世界と日本が見えてくる』大月書店、2017年。</p> <p>福田邦夫監修『世界経済の解剖学:亡益論入門』法律文化社、2014年。</p> | | | | |
| オフィシアワー | | | | |
| <p>火・水・金曜、11:30~12:45、および授業前後の教室で対応します。ただし、諸事情により対応できない可能性や別の曜日・時間帯で対応できる場合もあるため、(授業前後を除き)原則として、事前にメールで連絡して下さい。</p> | | | | |
| 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法 | | | | |
| <p>全体的な講評(フィードバック)については、ミニレポート実施の翌週以降の授業で適宜行う。</p> | | | | |
| 授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】 | | | | |
| 授業回数 | 担当 | 授業内容 | 授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示) | |
| 1 | 佐々木 優 | <p>イントロダクション</p> <p>シラバスに基づき講義内容および注意点を説明する。</p> <p>「経済のグローバル化」を学ぶ意義について理解する。</p> | <p>【予習】シラバスを熟読すること。経済学の基本的な理論・考え方が何かを確認すること。(90分)</p> <p>【復習】講義内容や注意点、評価方法等について把握すること。経済学の基本的な考え方について確認すること。(90分)</p> | |
| 2 | 佐々木 優 | <p>グローバル化の進展と貿易・投資</p> <p>経済のグローバル化と貿易・投資の関係について理解する。</p> | <p>【予習】私たちの生活や経済活動とグローバル化の関係について考えること。(90分)</p> <p>【復習】配布プリントの内容を確認し、日常生活の中に見られる経済活動について考察すること。(90分)</p> | |

| | | | |
|----|-------|--|---|
| 3 | 佐々木 優 | 自由貿易と保護貿易 自由貿易の理論や、自由貿易と保護貿易の相違点を理解する。 | 【予習】前回プリントおよび新聞・ニュースより、「経済のグローバル化」に関連する重要な用語を確認すること。 (90分) 【復習】配布プリントの内容を確認し、日常生活と貿易の関係について確認すること。 (90分) |
| 4 | 佐々木 優 | 貿易を巡る対立 映像資料を通じて、現代貿易の現状と課題を理解する。 | 【予習】貿易を巡る問題について、新聞やニュースを確認すること。 (90分) 【復習】配布プリントおよび映像資料の内容を確認し、貿易摩擦および貿易品の獲得競争について考察すること。 (90分) |
| 5 | 佐々木 優 | グローバル経済とSDGs①／二つの公正貿易 公正貿易の概要および現状を理解する。 | 【予習】前回のプリントより、貿易に見られる課題に関する重要な用語をチェックすること。 (90分) 【復習】配布プリントより、2つの公正貿易の違いを確認するとともに、それぞれの課題を考察すること。(90分) |
| 6 | 佐々木 優 | グローバル経済とSDGs②／フェアトレードの課題 今日のフェアトレードについて、その特徴と課題を考察する。 | 【予習】前回のプリントより、フェアトレードの特徴を確認する。 (90分) 【復習】配布プリントおよび映像資料の内容を確認し、フェアトレードの課題について考察すること。 (90分) |
| 7 | 佐々木 優 | グローバル経済とSDGs③／持続可能な成長と途上国開発 今日の経済のグローバル化が生み出した課題を考察する。 | 【予習】「持続可能な成長」とは何か、また開発途上国の特徴が何かを調べること。 (90分) 【復習】配布プリントより、経済成長とSDGsの違いを確認するとともに、および持続可能な成長を目指す上での課題を考察すること。 (90分) |
| 8 | 佐々木 優 | 第2～7回までの小括&WTOと地域協定の拡大 前半の内容を整理・復習する WTOの特徴と地域貿易協定の進展について考える。 | 【予習】第2～7回のプリントを再確認し、グローバル経済の特徴や理論、および今日的課題を確認する。 (90分) 【復習】配布プリントの内容や新聞等の情報を確認し、地域統合の意義と課題について考察すること。 (90分) |
| 9 | 佐々木 優 | グローバル経済の現状と課題①／資源のグローバル化 グローバル経済と資源の関係について考える。 | 【予習】前回のプリントより、地域統合に関する重要な用語をチェックすること。「資源と呼ばれるものには何があるか」について、調べる こと。 (90分) 【復習】資源のグローバル化の特徴と課題を確認すること。 (90分) |
| 10 | 佐々木 優 | グローバル経済の現状と課題②／エネルギー消費の拡大と課題 エネルギー消費の現状と再生可能エネルギーの意義・課題について、映像資料を用いて理解する。 | 【予習】前回プリントおよび新聞・ニュースを確認し、資源消費の拡大に伴う弊害を考察すること。 (90分) 【復習】配布プリントおよび映像資料の内容を確認し、再生可能エネルギーの意義と課題について考察すること。 (90分) |
| 11 | 佐々木 優 | グローバル経済の現状と課題③／ヒトのグローバルな移動 経済のグローバル化に伴うヒトの移動の拡大について考察する。 | 【予習】日本におけるヒトの移動の事例について、新聞やニュースを参照し調べる こと。 (90分) 【復習】配布プリントを確認し、ヒトのグローバルな移動の現状と課題について確認すること。 (90分) |
| 12 | 佐々木 優 | グローバル経済の現状と課題④／労働者の国際化と日本の課題 外国人労働者を取り巻く現状と今日的課題について考察する。 | 【予習】前回プリントおよび新聞・ニュースを参考に、移民・難民問題の現状について確認すること。 (90分) 【復習】配布プリントおよび映像資料の内容を確認し、外国人労働者の増加が日本経済に及ぼすメリット・デメリットを理解すること。 (90分) |
| | | グローバル経済の現状と課題⑤／カネ | 【予習】日常生活における金融(銀行・貨幣)の役割について確認す |

2020/07/30(木)11:32

| | | | | |
|--|-------------------------|----------------------------------|---|------|
| 授業科目名 | 国際社会学 | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | International Sociology | | 開講学期 | 前期 |
| 対象学年 | 2 | | 単位数 | 2 |
| 科目責任者 | 大槻 茂実 | | ナンバリング | 4302 |
| 科目担当者 | | | | |
| 大槻 茂実 | | | | |
| 授業の概要 | | | | |
| <p>世界が向かうのは統合か、分断か。履修者は本授業でこの問いを解き明かすことになる。</p> <p>国際社会学とは何か？詳細な定義はともかくとして、国際社会をとらえる社会学といった内容であることは想像に難くないはずだ。しすなわち、国際社会学とは国際化より正確にはグローバリゼーションがすすむ現代社会を捉える上で強力な社会学の一分野だといえよう。</p> <p>ヒト・モノ・カネの移動であるグローバリゼーションは、世界を1つのシステムとして成立する過程を示しているといえる。つまり、日本や欧米諸国とアジア諸国などといった国ごとの社会ではなく、地球という1つの社会が成立する過程を示した概念なのである。</p> <p>そうであるとすれば、グローバリゼーションが進む中で、世界は1つの社会システムとして統合されるのだろうか、分断してしまうのだろうか。あるいは、そうした二元論にたった視座が世界の行く末を読み解く上で不十分なのだとすれば、どのような形での統合や分断が生じているのか。我々は国際社会を冷静に読み解く必要がある。ここにおいて、上記の国際社会学が有益な道具となることが理解できよう。</p> <p>本授業では、国際社会学のエッセンスを学びつつ、現代社会を統合/分断の切り口から読み解くことを目的とする。特に社会学的な想像力を徹底することで、グローバル社会領域を中心とした専門知を実践的に習得していく土台をつくる。</p> | | | | |
| 授業の達成目標 | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. グローバル的な視点でローカル社会を読み解く想像力を身につける。 2. 移動、つながり、帰属の重層的な関係から社会構造を読み解く意義を理解する。 3. グローバリゼーションの進展にともなう今日的な課題に関する自分の見解を言語化できるようになる。 | | | | |
| 成績評価方法 | | | | |
| 通常課題(毎回WEBに入力する予習・復習)とレポートにより評価する。評価基準は通常課題30%、レポート60%、総合判定10%。 | | | | |
| 履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと) | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回の資料はWEB上にアップするので、必ずアクセスして授業・課題に取り組むこと。 2. 予習・復習の記入内容等は、匿名化した上でJ-pass上にアップすることがある。このことをあらかじめ知っておくこと。 3. 授業ではディスカッション形式ですすめることがある。このことをあらかじめ知っておくこと。 3. 学生の理解度により授業内容や授業構成が変更されることがある。またコロナウイルス対応の点から大幅な変更を行う可能性がある。このことをあらかじめ知っておくこと。 | | | | |
| テキスト・参考書 | | | | |
| 随時授業内で指示する。 | | | | |
| オフィスアワー | | | | |
| 基本は月曜日12:10~12:50。時間外でも対応します。ただし、いずれの場合も必ずメールでアポをとってください。 | | | | |
| 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法 | | | | |
| J-passのクラスプロファイル機能を使用する。その他の場合には、授業内で説明する。 | | | | |
| 授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】 | | | | |
| 授業回数 | 担当 | 授業内容 | 授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示) | |
| 1 | 大槻 茂実 | 初回ガイダンス_世界が向かうのは統合か、分断か。 | 【予習】本授業のシラバスを精読し、世界が向かうのは統合か分断か、自分なりの考えを定めておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分) | |
| 2 | 大槻 茂実 | 労働市場と移民システム Keyword 新自由主義 | 【予習】総務省統計局の国勢調査にアクセスし、日本における外国人人口を調べる。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分) | |
| 3 | 大槻 茂実 | 国民国家とシティズンシップ Keyword 難民・無国籍者 | 【予習】シティズンシップの訳語は何か、調べておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分) | |
| 4 | 大槻 茂実 | 社会階層論 | 【予習】①資源とは何か一般的な定義を調べておく②人を地位を測定する上でその人がもつ有効な情報は何か考えておく。(90分) | |

2020/07/29(水)15:46

| | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|------|
| 授業科目名 | 国際経営学 | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | International Business | | 開講学期 | 前期 |
| 対象学年 | 2 | | 単位数 | 2 |
| 科目責任者 | 佐々木 優 | | ナンバリング | 4303 |
| 科目担当者 | 佐々木 優 | | | |
| 授業の概要 | <p>経済のグローバル化は、先進諸国に留まらず、中国やインドなどの新興国、およびアフリカやアジアの開発途上国など、世界各国・地域が発展を成し遂げる契機となった。特に企業のグローバル展開は活発化しており、他国への投資の拡大や業務提携なども盛んに行われている。ただし、経済のグローバル化は、必ずしも好影響とはならず、様々な弊害の生じている国・地域も見られる。企業の海外進出においても、各国の政治経済に加えて、社会・文化的な難題が生じる場合もある。</p> <p>そこで本講義では、「グローバル化のなかで、各国・地域が抱える課題」をキーワードに、企業のグローバル戦略について理解するとともに、世界各国の社会経済の特徴と課題について検討する。</p> | | | |
| 授業の達成目標 | <p>本講義は、国際経営の基本的な考え方・ポイントを整理した上で、現代のグローバルビジネスにみられる課題について、学生自身が主体的に考える講義である。特に以下の2点を旨とする。</p> <p>(1) 国際経営に関する基礎的な理論や考え方を理解すること。</p> <p>(2) 各国・地域の経済情勢および市場の特徴を比較するとともに、企業がグローバルな経営戦略を進める上での課題について考察すること。</p> | | | |
| 成績評価方法 | <p>期末試験(60%)、講義への参加貢献度およびミニレポート(40%)。を総合して評価する。</p> <p>※尚、受講状況に応じて、期末試験を「複数回の小テスト」や「グループ発表」に変える可能性もある。</p> | | | |
| 履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと) | <p>①本講義では、講義内容の復習を促すとともに、学生が主体的に考える場を設けるため、複数回のミニレポート(授業内課題)を実施する。そのため、受講者には、配布資料を参照し、講義内容の確認を行うことが求められる。初回授業にて詳細(期末試験の形式変更の説明も含む)を説明するため、受講を希望する学生は必ず初回授業に出席すること。</p> <p>②講義に関係ない私語およびスマートフォン等の使用は厳禁(著しい場合は退室させることがある)</p> <p>③世界経済の動向やビジネス市況の変化、履修状況等に応じて、授業の進め方を変更する可能性がある(内容の組み替えやグループワークの導入など)。履修する際には、その点を留意してほしい。</p> | | | |
| テキスト・参考書 | <p>教科書は指定せず、毎回の授業でプリントを配布する(新聞の切り抜き以外は、ポータルサイト上にも掲載予定)。</p> <p>全体的な参考書として以下のものを提示するが、各トピックに関連する書籍等はその都度、プリントに記載する。</p> <p>江夏健一、太田正孝、藤井健編『国際ビジネス入門(第2版)』中央経済社、2013年。</p> <p>小栗崇資、夏目啓二編『多国籍企業・グローバル企業と日本』新日本出版社、2019年。</p> <p>小林尚朗ほか編『貿易入門:世界と日本が見えてくる』大月書店、2017年。</p> <p>林倬史、古井仁編『多国籍企業とグローバルビジネス(改訂版)』税務経理協会、2017年。</p> | | | |
| オフィスアワー | <p>火・水・金曜、11:30~12:45、および授業前後の教室で対応します。ただし、諸事情により対応できない可能性や別の曜日・時間帯で対応できる場合もあるため、(授業前後を除き)原則として、事前にメールで連絡して下さい。</p> | | | |
| 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法 | <p>全体的な講評(フィードバック)については、ミニレポート実施の翌週以降の授業で適宜行う。</p> | | | |
| 授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】 | | | | |
| 授業回数 | 担当 | 授業内容 | 授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示) | |
| 1 | 佐々木 優 | <p>イントロダクション</p> <p>シラバスに基づき講義内容および注意点を説明する。</p> <p>企業経営のグローバル化を学ぶ意義について理解する。</p> <p>経営学の基本的な考え方に関する確認問題を行う予定です。</p> | <p>【予習】シラバスの内容や注意点を確認すること。</p> <p>経営学の基本的な理論について確認すること。(90分)</p> <p>【復習】講義内容や注意点、評価方法等について把握すること。</p> <p>確認問題の内容について復習すること。(90分)</p> | |
| | | 企業のグローバル展開①/GVCsと | 【予習】海外に事業展開している日本の企業について調べること(ど | |

| | | | |
|----|-------|---|---|
| 2 | 佐々木 優 | は？ 企業のグローバル展開とその理論について理解する。 | のような業種の企業が、どんな国へ進出しているか)。(90分) 【復習】配布プリントより、経営学の理論について確認すること。(90分) |
| 3 | 佐々木 優 | 企業のグローバル展開②／多国籍企業とは？ 多国籍企業の特徴と課題を理解する。 | 【予習】前回のプリントを踏まえ、経営学に関する重要な用語、およびGVCsの特徴を確認すること。(90分) 【復習】配布プリントの内容を確認し、多国籍企業について復習すること。(90分) |
| 4 | 佐々木 優 | アメリカ経済と市場の変化①／米市場の特徴 今日のアメリカ経済および市場の特徴と課題を理解する。 GAFAの動向や問題点について考察する。 | 【予習】アメリカの政治経済について、新聞やニュースを確認すること。(90分) 【復習】配布プリントを確認し、トランプ政権後のアメリカ経済の特徴について復習すること。(90分) |
| 5 | 佐々木 優 | アメリカ経済と市場の変化②／日本企業のアメリカ進出 映像資料を通じて、アメリカと地域協定の関係を理解する。 本企業の米市場へのビジネス展開における課題を考察する。 | 【予習】新聞・ニュース等を活用し、NAFTAおよびTPPの特徴について調べること。(90分) 【復習】配布プリントを確認し、日本企業のアメリカ進出における課題を考察すること。(90分) |
| 6 | 佐々木 優 | EU経済とBrexit①／EU市場の特徴 今日のEU経済および市場の特徴と課題を考察する。 | 【予習】新聞やニュースより、最近のEUの政治経済の動向について調べること。(90分) 【復習】配布プリントより、EU経済の特徴、および加盟国のEU離脱が各国経済および企業に及ぼす影響を考察すること。(90分) |
| 7 | 佐々木 優 | EU経済とBrexit②／英市場の変化と課題 イギリス経済の特徴とEU離脱による影響を考察する。 観光および金融業を中心に、英市場でのビジネス展開における課題を考察する。 | 【予習】前回のプリントおよび新聞・ニュースを参照し、Brexitの特徴を確認する。(90分) 【復習】配布プリントおよび映像資料の内容を確認し、イギリスの観光・金融市場の動向と、日本企業の関係について考察すること。(90分) |
| 8 | 佐々木 優 | 中国経済の発展と課題①／米中貿易戦争 中国の急速な経済発展について、その特徴と課題を考察する。 米中貿易摩擦の動向や今後の動向について理解する 中国企業(主にファーウェイ)の動向について、アメリカとの関係を踏まえて考察する。 | 【予習】新聞やニュースより、中国経済の動向および米中貿易摩擦の流れを調べること。(90分) 【復習】配布プリントより、米中の貿易摩擦と中国企業の関係について復習すること。(90分) |
| 9 | 佐々木 優 | 中国経済の発展と課題②／「一帯一路」構想 中国の「一帯一路」構想について、その特徴と課題を理解する。 「一帯一路」構想に関連して、中国企業の海外展開について考察する。 | 【予習】新聞やニュースを活用し、「一帯一路」構想の特徴を調べること。(90分) 【復習】配布プリントより、一帯一路の特徴と中国企業の海外進出の動向について復習すること。(90分) |
| 10 | 佐々木 優 | アジア経済の発展と新興市場①／新興市場としてのインド 新興市場と言われるまでに急成長を遂げたインドの経済状況およびビジネス | 【予習】新聞やニュースより、インド経済の動向、および中国とインドの関係について調べること。(90分) 【復習】配布プリントより、インド市場の特徴とビジネス上の課題について考察すること。(90分) |

2020/07/29(水)15:56

| | | | | |
|--|-----------|---|---|------|
| 授業科目名 | マーケティング | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Marketing | | 開講学期 | 後期 |
| 対象学年 | 2 | | 単位数 | 2 |
| 科目責任者 | 佐々木 優 | | ナンバリング | 4304 |
| 科目担当者 | | | | |
| 佐々木 優 | | | | |
| 授業の概要 | | | | |
| <p>「マーケティング」を端的に捉えると、企業(財・サービスの売り手)と消費者(買い手)を結びつけ、両者のモノとカネの交換がスムーズに行われるような仕組み(≒市場)の創造を目指す活動になります。もっとも、マーケティングは、経済・経営に加えて、消費者の行動分析や市場調査、商品開発や販売、販売・経営管理、広告、持続可能な開発など、様々な要素が絡み合った学問であり、各業種によってその方向性も異なる。加えて、膨大な規模のヒト・モノ・カネが国境を越えて行き来するようになった結果、多くの人びとがより豊かな生活を過ごすようになった。そして、企業も事業をグローバルに展開しており、マーケティングの領域も広範囲に及んでいる。</p> <p>そこで本講義では、マーケティングに関する基本的な理論をおさえつつ、「各業種がどのようなマーケティング戦略を展開しているか」について、様々な事例を提示しながら、その特徴や課題を考察する。</p> | | | | |
| 授業の達成目標 | | | | |
| <p>本講義は、マーケティングの基本的な考え方・論点を整理した上で、各業種(企業)のマーケティング戦略の特徴と課題について、学生自身が主体的に考える講義である。特に以下の2点を旨とする。</p> <p>(1) マーケティングに関する基礎的な理論を把握すること。</p> <p>(2) 理論と今日のビジネス市況の事例を比較し、その特徴や課題について理解・考察を深めること。</p> | | | | |
| 成績評価方法 | | | | |
| <p>期末試験(60%)、講義への参加貢献度およびミニレポート(40%)。を総合して評価する。</p> <p>※尚、受講状況に応じて、期末試験を「複数回の小テスト」や「グループ発表」に変える可能性もある。</p> | | | | |
| 履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと) | | | | |
| <p>① 本講義では、講義内容の復習を促すとともに、学生が主体的に考える場を設けるため、複数回の小テスト(ミニレポート)を実施するため、受講者には、配布資料を参照し、講義内容の確認を行うことが求められる。初回授業にて詳細(期末試験の形式変更の説明も含む)を説明するため、受講を希望する学生は必ず初回授業に出席すること。</p> <p>② 講義に関係ない私語およびスマートフォン等の使用は厳禁(著しい場合は退室させることがある)</p> <p>③ 世界経済の動向やビジネス市況の変化、履修状況等に応じて、授業の進め方を変更する可能性がある(内容の組み替えやグループワークの導入など)。履修する際には、その点を留意してほしい。</p> | | | | |
| テキスト・参考書 | | | | |
| <p>教科書は指定せず、毎回の授業でプリントを配布する(新聞の切り抜き以外は、ポータルサイト上にも掲載予定)。</p> <p>全体的な参考書として以下のものを提示するが、各トピックに関連する書籍等はその都度、プリントに記載する。</p> <p>阿部誠『図解・大学4年間のマーケティングが10時間でざっと学べる』KADOKAWA、2018年。</p> <p>江夏健一、太田正孝、藤井健編『国際ビジネス入門(第2版)』中央経済社、2013年。</p> <p>大石芳裕『実践的グローバル・マーケティング』ミネルヴァ書房、2017年。</p> <p>諸上茂登『国際マーケティング講義』同文館出版、2013年。</p> | | | | |
| オフィシアワー | | | | |
| <p>火・水・金曜、11:30~12:45、および授業前後の教室で対応します。ただし、諸事情により対応できない可能性や別の曜日・時間帯で対応できる場合もあるため、(授業前後を除き)原則として、事前にメールで連絡して下さい。</p> | | | | |
| 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法 | | | | |
| <p>全体的な講評(フィードバック)については、ミニレポート実施の翌週以降の授業で適宜行う。</p> | | | | |
| 授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】 | | | | |
| 授業回数 | 担当 | 授業内容 | 授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示) | |
| 1 | 佐々木 優 | <p>イントロダクション</p> <p>シラバスに基づき講義内容および注意点を説明する。</p> <p>「マーケティング」を学ぶ意義について理解する。</p> | <p>【予習】◇シラバスを熟読すること。マーケティングがどのような学問かを確認すること。(90分)</p> <p>【復習】講義内容や注意点、評価方法等について把握すること。(90分)</p> | |
| | | <p>消費者の行動を考える</p> | <p>【予習】私たちが日常生活の中で、どのような理由で財・サービスを購入するか(=購買活動)について考えること。(90分)</p> | |

| | | | |
|----|-------|--|---|
| 2 | 佐々木 優 | 私たちの生活(=購買活動)から、消費者行動の理論および実例について理解する。 | 【復習】配布プリントの内容を確認し、日常生活の中で行っている「財・サービスを購入する」という行為について考察すること。(90分) |
| 3 | 佐々木 優 | マーケティング戦略を考える(1)／市場調査と商品開発 市場調査の意義と商品開発の課題について理解する。 | 【予習】新聞やニュースを活用し、様々な商品がどのような変化・進化を遂げているかを調べること。(90分) 【復習】配布プリントを確認し、マーケティング戦略の特徴について復習すること。(90分) |
| 4 | 佐々木 優 | マーケティング戦略を考える(2)／販売戦略と課題検討 企業の販売戦略の特徴と課題について理解する。 | 【予習】新聞やニュースを活用し、様々な商品がどのようなタイミングで販売(公表)されているかを調べること。(90分) 【復習】配布プリントを確認し、企業が販売戦略を構築する際の課題を考察すること。(90分) |
| 5 | 佐々木 優 | 事例研究①／食品産業(スーパー、食品メーカー) 食品メーカーや食品販売業者のマーケティング戦略の特徴と課題を理解する。 | 【予習】日常生活のなかにある食品から、どのような企業が何を販売しているかを調べること。(90分) 【復習】配布プリントおよび新聞・ニュースを活用し、食品産業の市況について確認すること。(90分) |
| 6 | 佐々木 優 | 事例研究②／外食産業(ファーストフードほか) 外食産業のマーケティング戦略の特徴と課題を理解する。 | 【予習】◇日常生活で、どのようなタイミングで外食するかを考えること。外食と中食の違いを調べること。(90分) 【復習】配布プリントおよび新聞・ニュースを活用し、外食産業の市況について確認すること。(90分) |
| 7 | 佐々木 優 | 事例研究③／小売産業(コンビニエンスストア) コンビニエンスストアのマーケティング戦略の特徴と課題を理解する。 | 【予習】日常生活で、どのようなタイミングで外食するかを考えること。外食と中食の違いを調べること。(90分) 【復習】配布プリントおよび新聞・ニュースを活用し、小売産業の市況について確認すること。(90分) |
| 8 | 佐々木 優 | 事例研究④／小売産業(ショッピングモール) ショッピングモール(複合的な商業施設)のマーケティング戦略の特徴と課題を理解する。 | 【予習】日常生活で、大規模小売店(複合商業施設)を利用するタイミングや理由について考えること。(90分) 【復習】配布プリントおよび新聞・ニュースを活用し、小売産業の全体像と諸課題を考察すること。(90分) |
| 9 | 佐々木 優 | マーケティングの国際化 企業の国際マーケティング戦略と持続可能な社会の関係を理解する。 | 【予習】国際マーケティングとは何かを確認し、重要な用語をチェックすること。(90分) 【復習】配布プリントや関連書籍を活用し、国際マーケティングの論点と持続可能な社会を目指す上での課題について考察すること。(90分) |
| 10 | 佐々木 優 | 事例研究⑤／サービス産業(医療、教育など) サービス産業のマーケティング戦略とグローバル展開(主に医療分野)を考察する。 | 【予習】グローバル・ビジネスとしての教育および医療の特徴について、新聞やニュースより調べること。(90分) 【復習】配布プリントおよび新聞・ニュースを活用し、サービス産業の国際化の特徴と課題を復習すること。(90分) |
| 11 | 佐々木 優 | 事例研究⑥／観光産業(テーマパークなど) 観光産業のマーケティング戦略とグローバル展開(主に国内の観光施設)を考察する。 | 【予習】国内の観光施設(テーマパークなど)について、何をきっかけに成長/停滞しているかを、新聞やニュースより調べること。(90分) 【復習】配布プリントおよび新聞・ニュースを活用し、グローバル化とテーマパークの関係について、その特徴と課題を復習すること。(90分) |
| 12 | 佐々木 優 | 事例研究⑦／観光産業(都市・地方) 観光産業とインバウンドの関係について考察する。 | 【予習】日本の主要な観光地の特徴を調べること。インバウンドとは何かを確認すること。(90分) 【復習】配布プリントおよび新聞・ニュースを活用し、都市・地方の観光対策と対外的なマーケティング戦略の関係について、その特徴と課題を復習すること。(90分) |
| | | 事例研究⑧／製造業(自動車、機械関連) | 【予習】新聞や関連書籍、インターネット等を活用し、日本の主要な輸出品(機械製品)を調べること。(90分) |

2020/07/29(水)13:35

| | | | |
|--|---------------|---|--------------------------------|
| 授業科目名 | グローバリゼーション論 | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Globalization | 開講学期 | 前期 |
| 対象学年 | 2 | 単位数 | 2 |
| 科目責任者 | 大槻 茂実 | ナンバリング | 4305 |
| 科目担当者 | | | |
| 大槻 茂実 | | | |
| 授業の概要 | | | |
| <p>今、このシラバスを読んでいるあなたは、「卒業後は世界で通用する個人」になりたいという願望を少なからず抱いているのではないだろうか？ そうであれば、自問してみしてほしい。そもそも、「世界で通用する」とは具体的にどのようなことを指すのか？ 答えの鍵はグローバリゼーションの理解にある。</p> <p>世界中に同時に表れているグローバリゼーションという現象を捉えることは、社会の構造的な変化を世界レベルで捉えることを意味する。例えば、19世紀から20世紀初頭にかけて市民を埋め込むことに成功した国民国家のゆらぎについての理解を深めることはその典型といえる。では、グローバリゼーションが進む世界では、国民国家の力と役割は衰えるのだろうか？</p> <p>本授業では、グローバリゼーションと結びついた様々な社会事象をとりあげ、そうした社会事象の背景にあるグローバリゼーションという大きな物語を読み解いていく。授業では実際の社会調査データを使用した分析結果などを提示しながら、ミクロな我々の日常生活とマクロなグローバリゼーションの重なりを捉えていく。したがって、グローバリゼーションというやや抽象的な概念を扱いつつも、実際のデータから実証的にその検討を重ねていくことになる。</p> <p>本授業ではグループディスカッションを行い、知識の定着を進めていく。授業全体を通して、グローバリゼーションという現在進行形の世界的な社会現象と冷静に向き合うために何が必要であるのかを考える。</p> | | | |
| 授業の達成目標 | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. グローバリゼーションの進展の歴史的背景を知る。 2. 国民国家のゆらぎという観点から昨今の国際・国内政治を捉えられるようになる。 3. 「世界で通用する」とは具体的にどのようなことを指すのかを理解する。 | | | |
| 成績評価方法 | | | |
| 通常課題(毎回WEBに入力する予習・復習)とレポートにより評価する。評価基準は通常課題30%、レポート60%、総合判定10%。 | | | |
| 履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと) | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回の資料はWEB上にアップするので、必ずアクセスして授業・課題に取り組むこと。 2. 予習・復習の記入内容等は、匿名化した上でJ-pass上にアップすることがある。このことをあらかじめ知っておくこと。 3. 学生の理解度により授業内容や授業構成が変更されることがある。またコロナウイルス対応の点から大幅な変更を行う可能性がある。このことをあらかじめ知っておくこと。 4. この授業は適切な授業運営上抽選をすることがある。 | | | |
| テキスト・参考書 | | | |
| 随時指示する。 | | | |
| オフィスアワー | | | |
| 基本は月曜日12:10~12:50。時間外でも対応します。ただし、いずれの場合も必ずメールでアポをとってください。 | | | |
| 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法 | | | |
| J-passのクラスプロフィール機能を使用して行う。 | | | |
| 授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】 | | | |
| 授業回数 | 担当 | 授業内容 | 授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示) |
| | | 初回ガイダンス+グローバリゼーション ①-世界に通じる個人とは？ 本授業の概要と目的を把握する。「世界で通用する個人」になるにはどうすれば | 【予習】世界に通じる個人とはどういう人物であるか記述し提出す |

| | | | |
|---|-------|---|---|
| 1 | 大槻 茂実 | ばよいのか、そもそも「世界で通用する個人」とはどのような個人であるのかを自分自身で理解できるようになるためにはどう学べば良いのか、毎回の授業の予習・復習方法を確認する。 | る。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。 |
| 2 | 大槻 茂実 | 様々な分断①働き方 第2回から第5回にわたって、様々な社会的分断を切り口として現代社会を捉えていく。第2回では正規雇用、非正規雇用といった働き方を焦点に分断を捉える。 | 【予習】非正規雇用という働き方は個人の自由な選択によるものといえるか、自分の考えを用意しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。 |
| 3 | 大槻 茂実 | 様々な分断②学歴社会の分断 上昇移動を果たす上で、今日の社会では学歴の意義は大きいとされてきた。しかしながら、そうした学歴はどのようにして得られたのか？また、学歴社会はどのような帰結をもたらすだろうか？ | 【予習】学歴によって社会的地位の序列が決まる社会は近代社会といえるか。いえないのであればなぜか。理由も含めて、自分の考えを用意しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。 |
| 4 | 大槻 茂実 | 様々な分断③社会保障制度が生み出す不平等 競争の敗者が生じる以上、そうした敗者を救済するセーフティネットが必要である。しかしながら、そうしたセーフティネットが適切に機能していないのであれば、近代社会の大前提が崩れることになる。この回では社会保障制度に着目する。 | 【予習】日本の社会保障制度を調べておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。 |
| 5 | 大槻 茂実 | 様々な分断④不平等と公正感 様々な分断を捉える最終回。結局のところ、社会に生きる人々はその生活をとりにくく不平等を「正しいもの」とみなしているのだろうか？この回では、人々の公正感(公平感)に着目し、社会的不平等の正当性を考える。 | 【予習】スポーツにおけるルールへの評価と試合結果に対する満足感は理論的には大きく異なる。このことをしっかり理解しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。 |
| 6 | 大槻 茂実 | グローバル化する文化①ポピュラー文化 第6回と第7回ではグローバル社会における文化に着目する。特に第6回ではポピュラー文化に着目する。我々の生活をとりまくブランド商品の背後にある構造的な問題を検討しよう。 | 【予習】自分が好きなブランドを3つ用意し、そのブランドの製品の生産国を調べておく(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。 |
| 7 | 大槻 茂実 | グローバル化する文化②ソーシャルメディアと世論 今日の生活ではSNSを使用していない学生を探す方が難しい。いまや高齢者でさえfacebookを駆使することも珍しくない。こうしたソーシャルメディアは善き社会への起爆剤となり得るのだろうか？ | 【予習】ソーシャルメディアは善き社会への起爆剤となり得るのか。それは、なぜか？自分なりの考えとその根拠を用意しておく(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。 |
| | | グローバル化するリスク①資本主義と気候変動 第8回から3回にわたって、リスクの観 | 【予習】気候変動について「1.5℃」はキーワードとなりつつある。気候変動における1.5℃とは何を意味しているのか調べておく。(90 |

| | | | |
|----|-------|---|---|
| 8 | 大槻 茂実 | 点かたグローバル社会を読み解いていく。第8回は資本主義と気候変動の関連からグローバル社会におけるリスクを考える。 | 分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ、その内容を提出する。(90分) |
| 9 | 大槻 茂実 | グローバル化するリスク②デジタルテクノロジーと貧困 グローバルレベルの大きな社会の変化を捉える上では、デジタルテクノロジーへの注目は避けては通れないはずである。では、デジタルテクノロジーは人類に「善」をもたらすのだろうか？ | 【予習】デジタルテクノロジーは人類に「善」をもたらすのだろうか。自分なりの考えと根拠を用意しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ、その内容を提出する。(90分) |
| 10 | 大槻 茂実 | グローバル化するリスク③個人化する社会 自由で自律した個人の織り成す社会が近代であり、そうした近代を人々はあるべき社会として標榜してきた。しかしながら、今、そうした近代への賛美は曲がり角に差しかかっている。 | 【予習】自由とはどのような概念か。自分なりの定義を用意しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。 |
| 11 | 大槻 茂実 | グローバル時代のローカルな問題①共助型社会 グローバル化と同時に、少子高齢化も進展する現在の日本社会では共助が持続可能な社会の鍵となっている。ローカルな社会での共助がグローバル化の進展とどのように両立できるのかを考える。 | 【予習】共助型社会が望まれるようになった背景を考え、その内容を提出する。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。 |
| 12 | 大槻 茂実 | グローバル時代のローカルな問題②孤立と高齢化社会 豊かな先進国である日本であるならば、人々は豊かな人生を送っているはずである。にもかかわらず、現実の日本社会には孤立、孤独死といった闇が日常社会の隣り合わせにある。データを駆使し、日本社会の実情をとらえる。 | 【予習】孤立と孤独の違いを考える。(90分) 【復習】外国にルーツをもつ子供がドロップアウトしてしまう社会的要因をまとめ、提出する。(90分) |
| 13 | 大槻 茂実 | グローバル時代のローカルな問題③ジェントリフィケーション 少子高齢化と呼応した都市の再編として、本授業ではジェントリフィケーションに着目する。グローバルレベルの人口移動は都市の再編を促進する。では、都市の再編の典型といえる都心回帰の波は社会にどのような帰結をもたらすのか。 | 【予習】ジェントリフィケーションが自由な経済活動の帰結として生じたものならば、それは支持されるべきと考えることができる。これについて、あなたの考えを言語化しておく。(90分) 【復習】多くのNPO/ボランティア団体の抱える問題をまとめ、提出する。(90分) |
| 14 | 大槻 茂実 | グローバル時代のローカルな問題④多文化共生社会 結局のところ、グローバル化という社会変動に人々はよりよく対処できるのだろうか？この回では、多文化共生社会に対する人々の意識からグローバルな社会における人々の共生可能性を検討していく。 | 【予習】多文化共生の定義を調べる。多文化共生に反対する人々の考えはどの点で正当化できないのか？自分の考えを正当化しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ、その内容を提出する。(90分) |

2020/02/26(水)10:11

| | | | |
|---|----------------------------------|---------------------------|--|
| 授業科目名 | グローバル人材論 | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Global human resource management | 開講学期 | 前期 |
| 対象学年 | 2 | 単位数 | 2 |
| 科目責任者 | 平林 正樹 | ナンバリング | 4306 |
| 科目担当者 | | | |
| 平林正樹(実務経験有り) | | | |
| 授業の概要 | | | |
| <p>この授業では、「国際経営と人材マネジメント」という観点に焦点をあて、国や地域をまたいで事業を行う企業の人的資源管理を学びます。国際経営、人的資源管理の基礎をおさえ、国際的な人材配置、育成、報酬、評価、労使関係、海外派遣者マネジメントなどを扱います。</p> <p>世界経済のグローバル化の進展にともない、日本企業にもグローバルに事業を展開し、多国籍の人材を活用してビジネスを推進していく必要性、すなわち「国際人的資源管理」の重要性はますます高まっています。</p> <p>そこで働く人々の立場からみても国際人的資源管理について理解することが、自分自身のキャリアを考える際にも役立つはずです。</p> <p>※「自分がグローバル人材になるためのノウハウを学ぶ科目」ではありませんので、注意してください。</p> | | | |
| 授業の達成目標 | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際人的資源管理の基礎を身につけること。 2. 企業で国際人的資源管理の実務に取り組む際に、背後にある基本的な考え方や理論的な枠組みを押さえることができるようになること。 3. グローバルに展開する企業が人材をどのように管理・育成し、モチベーション高く働ける環境を整えようとしているかを学ぶ。 | | | |
| 成績評価方法 | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 成績評価方法 <ul style="list-style-type: none"> ①平常点(50%) ②期末試験(50%) <p>・授業内容に基づき、試験を行います。穴埋め問題と記述問題を出す予定で、問題の形式は授業中に指示します。</p> 2. 成績評価基準 <p>・期末試験:基本用語を修得し応用できるか(60%)、授業内容を理解し表現できるか(40%)</p> | | | |
| 履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと) | | | |
| <p>必ず、「予習(テキストの各章をあらかじめ読んでおくこと)」と「コメント準備(予習によって生じた質問・疑問・意見・感想・反論など何でも良い)」をしてくることを求めます。</p> <p>実例を通したインタラクティブな授業を行いますので、議論に積極的に参加することを望みます。</p> <p>私語は禁じます。わからないことがあれば私語をせず、途中でまどしどし質問して下さい。</p> | | | |
| テキスト・参考書 | | | |
| <p>テキスト:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関口 倫紀, 竹内 規彦, 井口 知栄(編)『国際人的資源管理』中央経済社 ・毎回の資料はJPASSの「授業資料」に添付しますので、適宜参照してください。 | | | |
| オフィシアワー | | | |
| <p>授業前の60分間。</p> <p>可能であれば、数日前までにメールにて連絡し予約をしてください。</p> | | | |
| 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法 | | | |
| JPASSを活用してフィードバックします。 | | | |
| 授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】 | | | |
| 授業回数 | 担当 | 授業内容 | 授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示) |
| 1 | 平林 正樹 | オリエンテーション 「グローバル化」とは何か | 【予習】配布資料に目を通しておく(90分) 【復習】本日の授業について復習し、学びをまとめておく(90分) |
| 2 | 平林 正樹 | 「国際人的資源管理」とは何か | 【予習】テキストの当該部分を読んでおき、疑問点をまとめておく(90分) 【復習】本日の授業について復習し、学びをまとめておく(90分) |
| | | | 【予習】テキストの当該部分を読んでおき、疑問点をまとめておく(90分) |

2020/07/29(水)13:38

| | | | | |
|--|-------------------------|--|--|------|
| 授業科目名 | 国際関係論 | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | International Relations | | 開講学期 | 後期 |
| 対象学年 | 2 | | 単位数 | 2 |
| 科目責任者 | 玉村 健志 | | ナンバリング | 4307 |
| 科目担当者 | | | | |
| 玉村 健志 | | | | |
| 授業の概要 | | | | |
| <p>いま世界では、戦争や平和に関わる問題を初めとして、経済、環境、開発など、様々な分野で国際的な問題が発生している。現在の国際関係がどのように形成され、どのように変化してきたのか、またそれをどのように捉えられるかを考えることがこの講義の目的である。国際政治の性質とはどのようなものか、グローバリゼーションとは何か、国際的問題の解決のために国際機関はどのような役割を果たしているのかなどの点を初めとして、現代の国際政治をどう捉えられるかを学んでいく。将来国際的な仕事に就くための、あるいは新聞や専門書などを読んで理解するための、国際政治に関する基礎的な知識を学ぶ。</p> | | | | |
| 授業の達成目標 | | | | |
| <p>(1) 国際政治の導入的な知識を獲得し、授業で学んだ理論や概念の有効性と限界を理解できる (2) 世界で起きていることについて、ニュースで見たり新聞で読んだりした事柄に関して自分なりの説明ができる (3) グローバル化した世界における現状と課題を理解できる (4) 自分の意見を述べられる発信力を持つ (5) 物事の見方は一つではないことを理解し、自分とは異なる意見も理解できる</p> | | | | |
| 成績評価方法 | | | | |
| <p>期末レポート60%(一次提出10%、最終提出50%)、リアクションペーパー(授業内課題)30%、授業での意見表明(クラスへの貢献)10%(質問や議論に対して積極的に意見を述べた学生はクラスに貢献したとみなし、成績評価に加味する)。レポートは12月に一度提出し、その後修正したものを1月に最終的に提出する。</p> | | | | |
| 履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと) | | | | |
| <p>講義では単に座って聞いているだけでなく、私からみなさんに色々な問題提起や質問を行っていくので積極的な発言を期待する。翌週のディスカッショントピックを知らせるので予め自分の意見を考えてくること。授業ではそれ以外にもみなさんに色々な質問をするので、ニュースを見たり新聞を読んだりして世界情勢について予めある程度情報を得ておいてほしい。 毎度授業の終わりにリアクションペーパーにその日のトピックについて自分の意見を400字程度で書いてもらう。本授業では自分の意見を授業の中で積極的に発信することを重視する。</p> | | | | |
| テキスト・参考書 | | | | |
| <p>教科書は指定しない。 授業全体に関わる参考書として下記を挙げておく。各トピックに関するものは授業内で都度紹介する。 藤原帰一『国際政治』放送大学教育振興会、2007年。 大芝亮・藤原帰一・山田哲也編『平和政策』有斐閣、2006年。 ジョセフ・ナイ・デイヴィッド・ウェルチ『国際紛争』第9版、2013年。 吉川直人・野口和彦編『国際関係理論』第2版、勁草書房、2015年。</p> | | | | |
| オフィスアワー | | | | |
| 毎週木曜5限とするが、ゼミや会議などで変更が必要になった場合には授業の中で通知する | | | | |
| 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法 | | | | |
| リアクションペーパーにおける質問等に次回の授業でコメントする。 | | | | |
| 授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】 | | | | |
| 授業回数 | 担当 | 授業内容 | 授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示) | |
| 1 | 玉村 健志 | <p>ガイダンス:なぜ国際政治を学ぶのか 国際政治学とは何を学ぶ学問なのか、その意義は何なのかみなさんと共に考えつつ、この講義の概要を説明する。また、皆さんの関心のあるテーマを話してもらう。</p> | <p>予習:シラバスをよく読み、国際政治について関心のあることを考えてくる(90分) 復習:国際政治学をなぜ学ぶのか自分なりの意見を書く(リアクションペーパー)(90分)</p> | |
| | | グローバル化された世界 | | |

| | | | |
|----|-------|--|--|
| 2 | 玉村 健志 | グローバル化とは何か、いつ始まり何をもたらしているのか、様々な議論やデータを紹介しつつ、現行のグローバル化とは別の道の可能性についても検討する。 | 予習: グローバル化とは何か、自分の考えをまとめてくる(90分) 復習: グローバル化のメリットとデメリットについて自分なりの考えを書く(90分) |
| 3 | 玉村 健志 | 国際政治の性質①:「リアリズム」における国際政治観 戦争は不可避かをテーマに、国家は国益に基づく利己的な行動を執り、国益を極大化しようとするがうえに紛争は避けがたいとする「リアリズム」の有効性と限界を考察する。 | 予習: 戦争は不可避なのか、自分の意見を考えてくる(90分) 復習: リアリズムの理論が当てはまる具体的な事例を探して書く(90分) |
| 4 | 玉村 健志 | 国際政治の性質②:「リベラリズム」における国際政治観 国際政治の性質を不変とする「リアリズム」の思考の枠組みに反駁する議論を紹介し、中でも相互依存が国際政治において果たす役割を考える。 | 予習: リアリズムの理論では説明の難しい事例を考えてくる(90分) 復習: リベラリズムの理論が当てはまる具体的な事例を探して書く(90分) |
| 5 | 玉村 健志 | 主権国家体系と国家の役割 現代の国際関係において中心的な主体だと考えられている主権国家とその体系について、意味、成立の過程、変容などを考察する。 | 予習: 主権とは何かを調べてくる(90分) 復習: 主権国家の役割とその変容について自分の考えを書く(90分) |
| 6 | 玉村 健志 | 力による「平和」: 抑止と集団安全保障 ニュースでしばしば耳にする抑止や集団安全保障とはどのような概念なのか、類似する勢力均衡や同盟などの概念とはどのような関係にあるのかを学ぶ。 | 予習: 「抑止」とは何か、何をどう「抑止」するのか、自分の意見を考えてくる(90分) 復習: 「抑止」概念の有効性と限界について自分なりの見方を書く(90分) |
| 7 | 玉村 健志 | 世界政府なき秩序～国際レジームと規範 国際制度が国家の行動や国家間関係に与える影響について考えるとともに、規範の役割に着目するコンストラクティビズムの考え方を学ぶ。 | 予習: 世界政府の存在しない国際関係において秩序は存在するか、自分の意見を考えてくる(90分) 復習: 国際制度はどのような役割を果たしているのか具体例を挙げる(90分) |
| 8 | 玉村 健志 | 国際機構 国際機構は誰にとってなぜ必要なのか、そもそも国際機構とは何か、どのように誕生したのかなど、国際機構に関する導入的な知識を学ぶ。 | 予習: 国際組織はなぜ必要か(不要ならなぜ不要か)自分の意見を考えてくる(90分) 復習: 国際組織は誰にとってどのような場面で必要か/不要か、自分の意見を書く(90分) |
| 9 | 玉村 健志 | 国際連合 国連は何をしているところか。どのように物事が決まり、それにどの程度の意味合いがあるのか。国際連合と関連する国際機関についての基礎知識を学ぶ | 予習: 国連は何のためにあるのか、なぜ必要か(あるいは不要か)自分の意見を考えてくる(90分) 復習: 国連の活動の意義と課題について自分の意見を書く(90分) |
| 10 | 玉村 健志 | アイデンティティの政治 「民族」やエスニシティなどのアイデンティティが対立や紛争など、国際政治に与える影響を検討する | 予習: 「民族」とは何かについて考えてくる(90分) 復習: なぜ民族やエスニシティが紛争に結びつくのか自分の意見を述べる(90分) |
| | | EUと国際統合論 ヨーロッパで起きている統合現象を捉えるとともに、EUの仕組み、EU内における | 予習: ヨーロッパにおける国家間関係や交流は他の地域とどう異なっているのか、考えてくる(90分) |

